

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 実用新案公報(Y2)

(11)実用新案出願公告番号

実公平6-30175

(24) (44)公告日 平成6年(1994)8月17日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
A 6 1 F 5/453		7108-4C		
5/44	H	7108-4C		

請求項の数2(全 3 頁)

(21)出願番号	実願平4-18073	(71)出願人	592068749 三洋薬品工業株式会社 東京都台東区東上野1丁目8番6号
(22)出願日	平成4年(1992)2月26日	(72)考案者	榎 良純 東京都台東区東上野1丁目8番6号 三洋 薬品工業株式会社内
(65)公開番号	実開平6-17717	(72)考案者	馬場 忠次郎 神奈川県鎌倉市今泉1丁目15番8号
(43)公開日	平成6年(1994)3月8日	(74)代理人	弁理士 伊東 貞雄
		審査官	鈴木 寛治

(54)【考案の名称】 男性用尿漏れ防止帯

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 下部を袋状部となし、上部を取付部となしたポリ紙等所要長さの可撓性帯状シート材の長手方向両側辺部を、それぞれ内側に所要巾折返して中央部に縦長状開口部を形成するとともに、前記各折返し片部の上方部および袋状部開口縁重合部を前記取付部および袋状部開口縁にそれぞれ接着したことを特徴とする男性用尿漏れ防止帯。

【請求項2】 上記袋状部内に尿吸収体を收容したことを特徴とする請求項1記載の男性用尿漏れ防止帯。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本考案は、男性用主として老人、身障者、ケガ人、その他手術後の病人等、身体の動きの不自由な者が用いて便なる男性用尿漏れ防止帯に関する

2

ものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、男性用尿漏れ防止帯として、例えば、所要の尿吸収性シート材を単に帯状に形成し、その内側に陰茎部を挿入できる三角状の袋部を設けたもの等があった。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】 ところが、上記従来技術は尿吸収性シート材に吸収された尿が直接身体に触れるため感触が甚だ悪いという問題点があったばかりでなく、材料が高く製品がコスト高となる等の問題点があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本考案は上記課題を解決することを目的とし、下部を袋状部となし、上部を取付

部となしたポリ紙等所要長さの可撓性帯状シート材の長手方向両側辺部を、それぞれ内側に所要巾折返して中央部に縦長状開口部を形成するとともに、前記各折返片部の上方部および袋状部開口縁重合部を前記取付部および袋状部開口縁にそれぞれ接着したことを特徴とするものである。

【0005】

【実施例】図1乃至図3は本考案の一実施例を示し、図1は非使用時状態の一例を示す正面図、図2は使用時の状態の一例を示す正面図、図3は使用時の状態の一例を示す縦断側面図である。

【0006】1は一般にポリ紙と称される従来周知の熱接着可能な可撓性帯状シート材であって、所要長さ、所要巾からなるものである。2は前記可撓性帯状シート材1の下部に形成された袋状部、3は上部に形成された取付部である。4、4は前記可撓性帯状シート材1の長手方向両側辺部をそれぞれ内側に所要巾折返して形成された一对の折返片部であって、前記各折返し片部4、4の上方部5および袋状部開口縁重合部6は、それぞれ前記取付部3および袋状部開口縁7に一体に接着されている。8は前記各折返し片部4、4間の中央部に形成された縦長状開口部である。9は尿吸収体であって、例えば紙、パルプ等の集成体（積層体）、またはその他例えばポリマー等適宜の吸湿、吸水性物質等任意のものである。10は接着部、11は下着、12は陰茎部、13は折返片部4、4の縁取りシール部を示す。

【0007】次に作用について説明する。使用に際しては、袋状部2内に必要に応じ図2、3に示すように尿吸収体9を挿入し、図2に示すように各折返片部4、4を開いて図3に示すように前記袋状部2内に陰茎部12を挿入して上部の取付部3を下着11に折曲げ取付けると、前記各折返し片部4、4間の縦長状開口部8はせばまり、陰茎部12の抜出し、および前記袋状部開口縁7部からの尿漏れは防止される。なお上記取付部3は下着以外の腰紐その他のもの等に折曲げ取付け得ることも可能であることは勿論のことである。

【0008】

【考案の効果】本考案によると、下部を袋状部となし、

上部を取付部となしたポリ紙等所要長さの可撓性帯状シート材の長手方向両側辺部を、それぞれ内側に所要巾折返して中央部に縦長状開口部を形成するとともに、前記各折返し片部の上方部および袋状部開口縁重合部を前記取付部および袋状部開口縁にそれぞれ接着したものであるから、使用に際しては、両折返片部を左右に開くことにより、袋状部内への尿吸収体および陰茎部の挿入が容易に行える。また装着後は前記両折返片部が原状に復することにより、前記両折返片部間の縦状開口部が自動的にせばまり、陰茎部の抜出しが防止される。さらに排尿量が多い場合は、折返片部によって袋状部が拡大され、受尿量が増大し、袋状部からの尿漏れを防止できる。またさらに従来品のように尿漏れによる違和感がないばかりでなく、使用材料が少なく、構造も簡単で、コストダウンが容易であり、安価に供給できる等、種々の効果を有するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案品の非使用時状態の一例を示す正面図である。

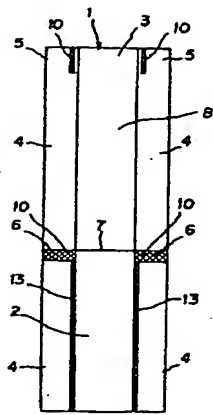
【図2】本考案品の使用時の状態の一例を示す正面図である。

【図3】本考案品の使用時の状態の一例を示す縦断側面図である。

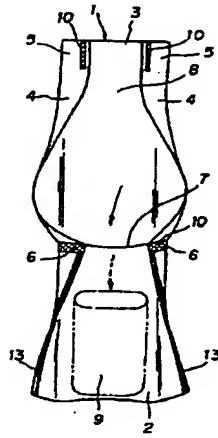
【符号の説明】

- 1 可撓性帯状シート材
- 2 袋状部
- 3 取付部
- 4, 4 一对の折返片部
- 5 上方部
- 6 袋状部開口縁重合部
- 7 袋状部開口縁
- 8 縦長状開口部
- 9 尿吸収体
- 10 接着部
- 11 下着
- 12 陰茎部
- 13 縁取りシール部

【图1】



【图2】



【图3】

